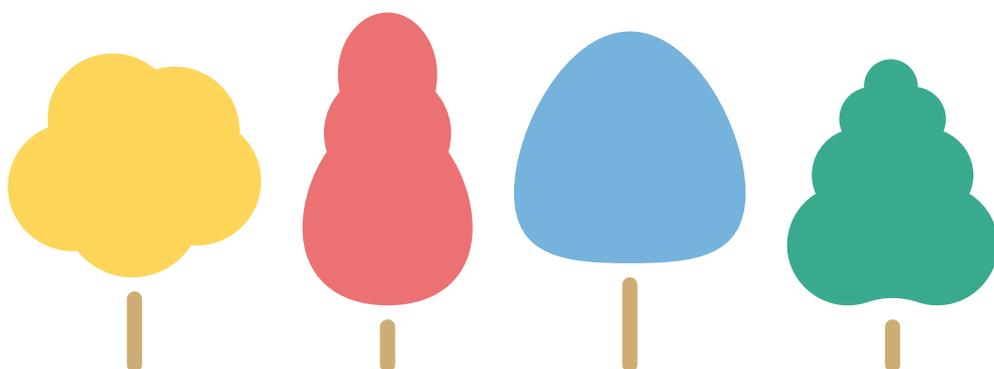


私が好きあなたが好き

MUSASHINO HIGASHI KINDERGARTEN

武蔵野東第一・第二幼稚園



本園のご案内
GUIDEBOOK

育まれるのは 私が好き あなたが好き

MUSASHINO HIGASHI KINDERGARTEN

私が好き

自分を好きな人は生きる力にあふれています。そのため「ありのままの自分が好き」と「向上する自分が好き」という「2つの自信」を幼児期に育む必要があります。自分自身を肯定できる子どもは、自らの可能性を大きく広げられるのです。一人一人の「生きる力」と、その軸となる「自分の心」をしっかりと育てていきます。



あなたが好き

「信じる」という心の働きは、「自分を信じる」ことから始まります。自分を信じることができなければ、他者を信じることはできません。「私が好き」は「あなたが好き」に直結しているのです。健常児と自閉スペクトラム症児（以下ASD児）がともに過ごす本園では、「相手を思いやる気持ち」や「関わり方を工夫する智恵」が自然と培われていきます。



一歩踏み出す勇気を

一人一人が安心して過ごし、自分らしさを伸び伸びと発揮できるよう温かな眼差しで子どもたちを見守ります。すると、子どもたちは自分のやりたいことに向かって前向きに挑戦への一歩を踏み出します。その一歩を肯定的に受け止め関わり次への挑戦へとつながるよう、教員もわくわくしながら支えています。



ともに遊び、ともに学ぶ

幼児期は前向きな力に満ちあふれている子どもたちの世界です。子どもたちは互いに刺激を与え合い、つながる喜びを学んでいます。同時に、互いの違いを受け入れられる心も養われていくのです。社会はさまざまな個性や文化の集合体です。「自分の力を発揮できる」「ともに向上し合える」という本園での体験は、やがて人生の大きな財産となることでしょう。



GREETING



子どもの人生の「いま、ここ」をもとに

武蔵野東第一・第二幼稚園 園長 加藤 篤彦

子どもの人生の幸せはいつも「いま、ここ」にあるのです。同時に子どもたちが生き生きと精一杯に自分の興味や関心に向かって取り組んでいる時間は、ご家族の幸せに重なります。幼稚園生活は、目標に向かうまでのプロセスの中にある喜怒哀楽や感動など、自分の心が動いている時間そのものです。それぞれの子どもたちのかけがえのない人生。今日がとても楽しく、明日はもっと楽しいことが待っているのだと、未来に向かって喜びが持てる子どもたちが育つようにと願っています。幼稚園は、みんなで一緒に成長するところ。保護者の皆様も一緒に、子どもの「いま、ここ」を楽しんでいただければと思います。

もくじ

CONTENTS

P.02 園長ごあいさつ
P.03 園訓
P.04 混合教育
P.05 生活と遊び
P.07 教育環境

P.11 園での生活
P.13 預かり保育・課外活動
P.14 年間行事
P.15 施設紹介
P.17 安全対策

P.19 ご家庭との関わり
P.20 よくあるご質問
P.21 武蔵野東学園について

園訓

GARDEN LESSON

「園訓」が保育の真ん中

「心と身体を健やかに、たくましく育てたい」という思いから生まれた本園の園訓「みんななかよし」「すなおなこころ」「こんきのよさ」の3つのタネが園児の心にまかれます。



みんななかよし

本園では、いろいろな個性の園児が、互いに良い関係を築いています。友達との良い関係とは、自分の思いを表現し、同時に相手の思いを感じ取ること。うまくいったことも、うまくいかなかったことも含めてすべて貴重な体験なのです。こうした分け隔てない人間関係を通して、みんなそれぞれ違うことが当たり前という受容の気持ちが自然と芽生えてきます。



本園の特色
01

すなおなこころ

既成概念や先入観にとらわれない、幼児期ならではの「ものの見方や考え方」を大事にしています。道徳的な価値観や豊かな感性・表現力を、生活の中の身近なことや遊びを通して、育んでいきます。さらに大事にしているのは、「すごい」「すてき」「いいね」など、良さを受け止める柔らかな感受性です。また「照れずに自分の力を出し切る」という真っすぐな心の動きも大切にしています。



こんきのよさ

最後まで「やり遂げる力」を子どもたち同士の生活や遊び、行事への取り組みを通じて大切に育んでいます。成長する自分や向上する自分がうれしくて、学びそのものが楽しいと思える体験を通して、興味が継続し、夢中や熱中が持続していくことを大事にしています。ひとつのことをやり遂げるという体験は、自信を生み出し、さらなる意欲へとつながっていきます。



ともに育ちあう混合教育

健常児とASD児が分け隔てなく一緒に生活することで、ゆっくり時間をかけて互いに認め合う友達の関係を作っていきます。幼児の特性や発達段階に合わせて通常クラスでの保育にも参加するとともに、園の行事や登降園、園庭でも一緒に遊びます。混合教育は健常児、ASD児それぞれの成長が最大限引き出されるように練り上げられた独自のシステムです。



多様性の尊重

幼児は日々の生活や遊びの中で、友達と関わり、葛藤や試行錯誤、そして共感を繰り返しながら関わる力が培われていきます。混合教育の環境の中で過ごすことで、園児たちはそれぞれの違いを個性として受け入れることの大切さを学び、コミュニケーションがとりづらと言われるASD児も友達と一緒にいる楽しさや心地よさを知ります。この環境こそ国がめざす「共生社会」の基礎を培っています。



人生の基礎を培う

幼児期から混合教育の環境で育った子どもたちは、「困っている人には優しくする」という知識からの学びではなく相手の個性を理解し、手伝いが必要だと思えば自然に助けることができます。それぞれの園児の心にまかれた小さいタネはやがて成長し、社会の一員になったときに花を咲かせます。それはまさに「幼児期の教育は人生の基礎を培う」ということにつながっています。

本園の特色
02



混合教育 インクルーシブ教育

INCLUSIVE EDUCATION

本園独自の インクルーシブ教育システム

60年以上にわたり独自のインクルーシブ教育を実践しています。ASD児は少人数のクラスで安心を土台にして自己肯定感を育みます。また健常児にとっては多様性を学ぶ環境でもあります。ともに育ちあうこの教育はインクルーシブ教育の先駆的な取り組みで海外からも注目を集めています。



『生活から学ぶ』

明るく楽しい生活

みんなで歌う、みんなで笑う、みんなで話す…大好きな先生と、大好きなみんなが、一緒に過ごす時間は楽しさでいっぱいです。みんながいてくれるからこそ、喜びや楽しみは何倍にも広がっていきます。安心して明るい笑顔で暮らすことは、生活の原点であり、成長の土台となります。来園される方々が、「明るくて元気な幼稚園ですね」とおっしゃるのは、園児も教員も明るくにこやかに、そして活気のある幼稚園生活を送っているからです。

● ● ● 気持ちの良い生活

元気にあいさつする、きれいに手を洗う、衣服を整える、身のまわりを清潔にするなど、自分たちでしようとする気持ちを大切にしています。また、穏やかな時間と活発に活動する時間、楽しく食事をする時間など、生活のリズムを整えます。その心地よさや満足感を友達や先生と一緒に味わうことで、気持ち良く生活するための習慣やマナーに気付き、一人一人が身に付けていきます。幼稚園で生活するみんなにとっての豊かな暮らしをつくります。

● ● ● 「し合う」生活

驚いたことや発見をみんなで共有し合う、心地よい生活をするためにみんなで話し合う、約束を決めてみんなで守り合う…学び合う、話し合う、喜び合う、認め合うなどの「し合う」は、どれも相手がいるから成り立ちます。他者と関わり合いながら、より良いものを作り上げていくことに、人生の楽しさがあるのです。園児たちは、先生たちに支えられながら、自分たちで考えて、みんなの生活をより充実したものにしていきます。



本園の特色
03

生活と遊び

LIFE & PLAY

主体的な生活と遊びを通して学び、育つ

心身の健やかな成長を促すためには、多様な体験から得られる学びの積み重ねが大切です。幼児期の学びは、日々の生活と遊びの中で生まれます。その毎日を子どもたちが主体的に過ごし、自ら学びに向かえるように豊かな生活と遊びの時間を保障します。



『遊びから学ぶ』

遊びが育む「生きる力」

“やってみたい!”と、心と体が動き出す出来事のすべてが遊びです。自ら興味関心を持ち、いろいろな環境に関わる中で、夢中になって自分の遊びに没頭すること。好奇心や探究心を高めて表現しよう、実現しようとする。うまくいかない体験も、身近な先生や友達に支えられ励まされながら挑戦し、満足感を味わうこと。こうした遊びを通じた体験は、充実感にあふれています。遊びは、子どもたちの「生きる力」の原動力なのです。

● ● ● 遊びが育む「なかま」

遊びを通して刺激された感性や身に付けた自信は、新たなことに向かう意欲となります。知りたい、表現したい、やり遂げたいなどの気持ちから、さらに遊びを広げたり深めたりしていくのです。その過程では友達との関わりも重要です。相手がいるからこそ、気持ちの葛藤、思いの伝え合い、折り合いが生まれます。そして遊びの調整や協同を経験し、さらにはともに遊ぶ楽しさや喜びを分かち合う仲間となっていきます。

● ● ● 遊びは総合的な学習体験

遊びをよりおもしろくするために、新たなルールを決めたり、みんなが同意できるように相談したり、協力し合ったり、試行錯誤したり、失敗したり、繰り返したりする…子どもたちは遊びの天才です。遊びを通じた「夢中・熱中・集中・持続」の体験から、子どもたちは主体性だけでなく、社会性、協調性、創造性など、人生の土台となる大事なことを学んでいきます。遊びはまさに幼児期にふさわしい総合的な学習体験です。

教育環境

LEARNING ENVIRONMENT

4つの出会いが織りなす充実の教育環境



子どもたちが幼稚園での生活と遊びを通して、身近な「環境」に出会い、主体的に関わりながら必要な体験を重ねて、より良く成長していけるようにと願って、明日の保育につながる「環境」づくりをしています。



本園の特色

04

「ひと」との出会い

チームワークを大切に

子どもたちにとって身近な人。それは先生や友達です。先生は、子どもたちが安心して自己発揮できるように、一人一人を受け入れ、励まし、共感し支えていく存在です。さらには子どもの目線となって、一緒にわくわくしたり感動したりできる仲間でもあります。子どもの興味関心、心情などを理解し関わることを大切にしています。友達もまた、幼児期に欠かせない仲間となるように豊かな関わりを支えています。

より良い教育実践のためには、教員の経験の蓄積が大切です。本園には、20代から40代以上まで、幅広い年代の教員がいます。また、園児の保育に関わるのは担当の教員だけではありません。体育や音楽などの身体性や感性の発達に関するさまざまな専門分野の教員がいます。お互いの幅広い経験や高い専門性を生かし、チームワークを大切にして保育に取り組んでいます。

幼児教育のさらなる向上



本園では、さまざまな実践研究活動を行っています。その成果は、ポスター発表や報告会を通して未就園、在園の保護者にお伝えし、毎年の教育への取り組みを共有しています。同時に、国や都レベルでの私立幼稚園の研修大会での発表や継続した公開保育を実施しています。これからも教員同士のチームワークや保護者との連携を大切にし、より良い保育のためにさまざまな研究を重ね、日々の実践に取り組んでいます。

友達の存在

「友達と一緒に遊ぶっておもしろい!」と感じ、人とつながるうれしさや楽しさ、安心感を味わえるようにしていきます。友達との遊びは、自分の世界からイメージを広げたり探究を深めたりと、新たな遊びの魅力を体験します。友達と、仲間と、クラスのみならず、年齢に応じて多様な相手と遊び、たくさんの体験を通して学びが生まれるよう、友達との関わりを大切にしています。どんな将来にも、人との出会いを大切に、ともに支え合い協働し合うことができるようにと願っています。



幼稚園生活で出会ういろいろな出来事や行事を通して、子どもたちにさまざまな学びのきっかけをつくります。四季折々にある行事は、幼稚園生活の彩りです。園児たちは、行事に向かって、個々に目標を持ったり、みんなで力を合わせたりして取り組んでいきます。そしてやり遂げた自信を糧に遊びや次なる活動へと向かっていきます。

憧れが人を育てる

普段の保育のみならず、「ハレ」の行事の時に、とりわけ輝いて見える年上の学年の取り組み…年少児は年中児の、年中児は年長児の取り組みを見て、「すごいなあ」「すてきななあ」と、憧れて成長をしていきます。「憧れ」は人が育つ力です。この力は、自分が憧れの年長に進級した時に、年長としての自覚やプライドとして表れて、成長をさらに後押ししてくれます。また、行事は結果だけでなく、そのプロセスの中にこそ真の「学び」が存在しています。最短距離で結果を出すのではなく、みんなで一緒に行事という目標に向かっていく日々の幼稚園生活そのものを大切に、私たちは過ごしています。



ほんものの体験を、ほんきの取り組みを

行事には、園児が企画発案をした即興的なものもありますし、園児自身で準備を重ねていくものもあります。子どもたちにとっては、遊びが行事になり、行事が遊びに戻ってくるのです。遊びの楽しさが繰り返されていくことで、園児の感性が大きく豊かに育っていくのを実感します。その一方で、大きく華やかな行事にも取り組んでいます。それは教員とともに用意をしていくスケールの大きな体験です。教員も力を尽くして、ほんものの舞台が教育の場となるようにします。多くの皆様の前で、自分を出し切る体験から得られる自信は、言葉にできないくらい大きく、深いものとして、子どもたちの心に刻まれていきます。

「こと」との出会い



「もの」「場」との出会い

やりたいことをかなえる「もの」との出会い

子どもは初めて出会う素材や道具、生き物などにさまざまな感覚を働かせて探究の一步を踏み出します。その探究する眼差しはとても愛おしいものです。こうした一つ一つの体験が子どもの力となり、自分のやりたいことを実現するために使いこなすようになっていきます。さらに、子ども同士が互に関係をつなげたり、イメージを共有したりするためにも、人と人との間に「もの」が関わっています。子どもたちが「いま、何をしようとしているのか」を教員が理解し、「どんな場」と「どんなもの」と出会うと良いのかを考えることも、幼児教育の大切な視点なのです。



本園では、子どもたちがより良く成長していくために「場」と「もの」との出会いを大切にしています。教員は、子どもたちがさまざまなことに遊び出せるように、また興味が持てるように、子どもたちの姿を思い浮かべながら環境づくりの工夫をしています。



遊びを豊かにする「場」の力

子どもたちが安心して遊びに熱中するための空間のあり方、遊びを豊かにするため道具や素材のあり方、過ごしやすさなど、子どもの必要感に応じながら場をつくっていくことを大切にしています。また、第一・第二幼稚園の園庭は、教員皆で“園庭で育つこと”への願いを出し合い、話し合いを重ねて改修しました。「自然とかわる」「探究する・科学する」「運動する」の3つを柱に、さまざまな体験を繰り返し、学べるようにしています。さらに現状にとどまらず、安全性を確認したり、子どもの興味関心や遊びの姿を振り返ったりしながら、より良い環境づくりをめざしています。



幼稚園バス KINDERGARTEN LIFE

本園は2園あるため幼稚園バスは合計8台（予備車含む）を所有しています。それぞれ2コースを担っており、地域をきめ細かく運行しています。詳しいバス停や時刻については、本園見学の際にご案内します。

- バスの申し込みは、入園決定後に受け付けます。（現在の運行コースよりも遠方への延長はありません）
- 新入園児の登降園時刻は、入園決定後に検討して決定します。（2月ごろ書面で通知）
- 登降園ともに同じ場所で乗降していただきます。
- 登降園の所要時間は片道30分間をめやすとしてコースを設定しています。
- 乗降する場所は、複数の方が集まりやすく乗降に安全な場所に定めます。
- 緊急の場合に対応できるように予備車も用意しています。
- 年度ごとに運行コースや乗降する時刻、場所が変更になる場合があります。
- 電車などを利用して遠方から通園を希望される方は、事前に幼稚園にご相談ください。
- バスとは無線連絡を取り運行しています。降園確認安全装置、備蓄品（バッテリー・救急用具・食料など）も搭載しています。

POINT



園児たちの1日 KINDERGARTEN LIFE

GOOD MORNING



9:00～ 登園・朝の支度

幼稚園バスや保護者と一緒に徒歩で通園します。幼稚園バスの運行ルートによって、9時までに登園する園児と10時までに登園する園児がいます。



10:00～ 遊びと色々な活動

遊びや生活・行事での「夢中・熱中・集中・持続」の体験から、主体性、社会性、協調性、創造性、表現力などを育てていきます。



12:00～ 昼食

昼食の時間。専門の栄養士が考えたバランスの取れた昼食を、みんなでおいしくいただきます。



13:00～ 帰りのあつまり・降園

クラスみんなで集まり、楽しかった1日を振り返ったり、明日の登園が楽しみになるような話をしたりします。

SEE YOU



14:00～18:00 預かり保育・課外教室

保育が終わった後、希望者は「預かり保育」や「課外教室」などの活動に参加できます。

TOMORROW

クラス編成 KINDERGARTEN LIFE

クラスの友達と一緒にダイナミックに活動する喜びが味わえるように、クラスは満3歳児クラスを18人前後、年少を25人前後、年中・年長を30人前後で編成しています。クラスには担任のほか複数の教員が関わり、その時の状況に応じてきめ細かに一人一人の園児に対応します。

昼食 KINDERGARTEN LIFE

武蔵野給食センターに依頼し、専門の栄養士がバランスの取れた献立を考えています。月・火・木・金曜日の4日間は、幼稚園で昼食を用意します。水曜日は、午前中の2時間保育のため昼食はありませんが、おやつにヤクルトを用意しています。アレルギーの対応はP.20「よくあるご質問」をご参照ください。

制服・体操服 KINDERGARTEN LIFE

登園・降園時や行事の際に制服を着用します。保育中は体操服で過ごします。満3歳児クラスは通年体操服で、年少は園生活に慣れるまでは、登園・降園も体操服を着用しています。冬制服着用は年少の10月から、夏制服着用は年中からになります。

【写真上から】制服（冬服） / 制服（夏服） / 体操服

預かり保育「ひがしっ子クラブ」

KINDERGARTEN LIFE

多様化する保育後の園児の生活や保護者の皆様のニーズを考え、預かり保育「ひがしっ子クラブ」を行っています。スポット利用は利用日の前日までの予約申し込み制で、定員制です。

利用区分	スポット利用	定額契約利用
対象	在園児全員 (年少～年長)	<ul style="list-style-type: none"> ●就労やご家族の介護などをされている保育要件があるご家庭の子弟(健常児) ●自治体に新2号認定を受けている方
実施日	平日(詳細は別紙「年間予定表」をご覧ください)	平日(12/29～1/3除く)
保育時間	平日: 保育後～17時 / 長期休暇中: 8～17時	8時～保育開始まで / 保育後～18時まで
予約	利用日の前日までの予約申し込み制	
費用	[1日分] 昼食なし…………… 1,000円 昼食あり…………… 1,200円+昼食代300円 長期休暇中…………… 1,700円(おやつ代含む)+ 昼食代300円	[月額(利用回数に関わらず1ヶ月定額)] 10,000円+昼食代300円(1食)

※2024年度実績のため内容が変更になる場合がございます。

課外教室

KINDERGARTEN LIFE

預かり保育との連携も行っています。経験を深めたい園児(年少2学期～)を対象として、課外教室を行っています。

教室	内容	実施日・回数	対象	費用
ピアノ	初歩的な技術の習得から中級レベルまでお子様に合わせて指導します。また、楽しみながらピアノに触れ、豊かな情操を育てます。12月に発表会を行います。(発表会費用は別途必要)	週1回30分・年33回 (曜日は講師が調整)	年少 年中 年長	84,150円
英語	歌や絵本、チャンツを自然な形で取り入れ楽しく英語に親しみます。外国の子どもたちが親しんでいる楽しい行事や習慣を身近に感じ「英語を話したいな」という気持ちを大切にします。 ※チャンツとは英語を学習する方法の一つで、英語文を歌のようにして発音してイントネーションやリズムを体得する学習方法です。	週1回45分・年33回 (主に年中火曜日・年長木曜日)	年中 年長	72,600円
体育	マット、平均台、跳び箱、ポールなどの器具や手具に親しみ、バランスの良い成長を促します。	週1回60分・年33回 (主に年少木曜日・年中金曜日・年長火曜日)	年少 年中 年長	82,500円
サッカー	子どもたちに「サッカーは楽しい!おもしろい!」と感じてもらえるよう指導します。	週1回45分・年30回 (水曜日)	年長	67,500円
ダンス	現代舞踊(モダンダンス)の基本指導を重視し、楽しんで踊り豊かな感性を育てます。9月に発表会を行います。(発表会費用は別途必要)	週1回60分・年33回 (主に月曜日)	年少 年中 年長	72,600円

※2024年度実績のため内容が変更になる場合がございます。 ※費用は2回に分けて納入していただきます。



幼稚園生活で出会ういろいろな出来事や行事を通して、子どもたちは学びます。四季折々にある行事は、幼稚園生活の彩りを豊かにし、行事に向かってみんなで力を合わせて取り組んでいます。そして達成の喜びの中で、たくさんの学びと自信を得ることができるのです。



MUSASHINO
HIGASHI

施設紹介

FACILITIES



武蔵野東第一幼稚園

FACILITIES

第一幼稚園は園児がゆっくりとしたペースで生活を組み立て、自立することをめざす構造です。集団生活が安心して楽しく過ごせるように、また、多くの友達と自然に出会えるように、各保育室同士のアプローチや動線を工夫しています。

特徴的な施設

FACILITIES

保育室パーゴラ

各保育室は壁を取り払い、開放的なパーゴラでエリアを分けています。パーゴラは園児がゆっくり絵本を読んだり、自分で作品を貼ったり飾り付けたりできる、創造的なスペースです。

園児トイレ

教員の目が行き届くとともに、扉での怪我がないようなジョイントを採用しています。(ブースの扉は使用時のみ開きます)

園庭

園庭中央にそびえ立つシンボルツリーは桂の木。季節を感じられる木々に囲まれた緑豊かな園庭です。砂場は2か所あり、心地よく遊べるように日よけタープも設置。築山の周囲にはウッドチップで、思いきり身体を動かせる場はゴムチップとなっています。



特徴的な施設

FACILITIES

保育室

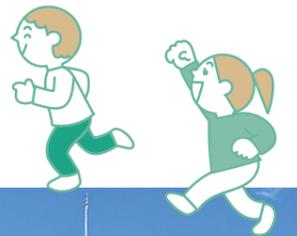
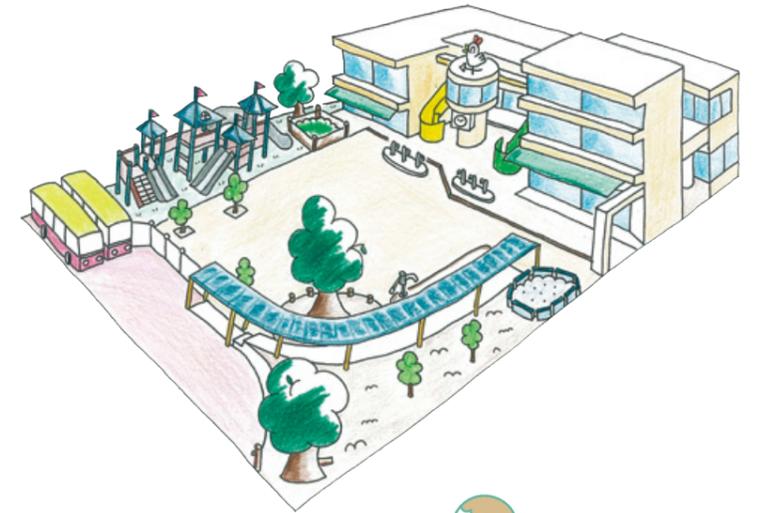
保育室と廊下は透明な窓ガラスで仕切られており、中からも外からも見ることができ、明るく開放的なつくりとなっています。

園庭

広くフラットなゾーンと砂場などでじっくり遊ぶゾーンと分かれており、それぞれ思い思いに遊びに没頭できる工夫がされています。夏場は組み立て式プールとせせらぎに水を張り、涼をとっています。

フリースペース

生き物の観察や作ったものの修理など、園庭と室内をつなぎ、やりたいことをすぐ実現できるパティオのほか、集中して遊べる場、運動ができるホール、積み木やダンボール製作の世界を広げられる場などがあります。



武蔵野東第二幼稚園

FACILITIES

園舎規模も大きく、園児の活発な動きに対応できることを重視しています。園庭は、さまざまな遊びが充実して、自然とも関わられるよう、また通園と遊びの分離などの安全面も考えられています。





IDカード(つり下げ名札)

SAFETY MEASURES

在園児の保護者の皆様には園児のいっそうの安全を確保するためにIDカードの着用をお願いしています。これは来園する際の身分証明になるだけでなく、着用している方が武蔵野東の関係者であることを明確にでき、相互にセキュリティチェックやセキュリティプレスをかけるという意味もあります。(IDカードのない方が、園児に近づきにくい状況を作ります)

遊具などの危険防止

SAFETY MEASURES

- 園舎や遊具、園舎内の安全確保という視点から、日々の清掃と点検を行っています。さらに定期的に、保育後に教職員でチームをつくり、複数の目で点検票を使って確認し、危険になりそうな破損には必要な処置をしています。
- 専門業者による定期的なメンテナンスも実施しています。

防火・耐震対策

SAFETY MEASURES

- 本園では、特定防火対象物(デパート、劇場、ホテル等と同じレベルの防火対応施設)として、厳しい基準での防火管理体制をとっています。
- 学期ごとに園児も参加する自衛消防訓練を消防署との連携のもとで実施しています。
- 第一・第二幼稚園ともに現行の学校基準の耐震構造物です。
- 保育室内も棚が倒れないように金具でとめたり、棚の中の物が落下しないような工夫をしています。

防犯対策

SAFETY MEASURES

- 正面玄関の自動ドアと通用口には、録画機能を備えたテレビカメラ付きのインターホンが設置しており、映像で相手を確認の上、自動ドアの開閉をしています。
- 保育中は教職員の目の届かない開口部分に施錠しています。また登降園など施錠をしない時間帯は、教職員が立って受け入れをしています。
- 警視庁への「学校110番」非常通報システムを設置しています。
- 武蔵野市内は市内安全パトロール隊(ホワイトイーグル)がパトロールカーで巡回しています。警戒対象施設として本園にも立ち寄っていただいています。
- 警備会社「セコム」の24時間専用回線による機械警備(園内センサー)を実施しています。
- 不審者対応訓練も警察署との連携のもとで毎年実施しています。また、地域の駐在所や交通安全協会と連携して交通安全教育なども実施しています。
- 武蔵野東学園の上級校との連携や情報交換に加え、東京都や武蔵野市の行政、警察や地域の方との会議に参加して連携を図っています。

衛生管理

SAFETY MEASURES

水の衛生管理

- 第一幼稚園の水道水は、受水槽方式です。受水槽は、年1回の専門業者による清掃を実施し、タンクの衛生管理を行っています。
- 第二幼稚園は水道管直結方式です。
- 両園舎ともに日々養護教諭が塩素濃度などを測定記録し、また第三者機関による定期点検を実施しています。
- 武蔵野市の水道水は約8割が市内の深井戸水、残り2割が都水です。

砂場の衛生管理

- 砂場は幼児教育に欠かせない大切な遊び場です。幼稚園では意識を高く持って衛生維持管理に努めています。
- 砂場は定期的に砂の補充や滅菌処理を行っています。また保育後は、専用の網をかけて犬・猫が入りにくいように工夫をしています。

非常時の対応

SAFETY MEASURES

非常時お知らせメール

台風や大雨・大雪などで登降園時に危険が予想される場合には、前日の18時の時点で「れんらくアプリ」にて臨時休園のお知らせをしています。

「れんらくアプリ」について

本園では、保護者との連絡ツールとして、「れんらくアプリ」というアプリケーションを利用しています。「れんらくアプリ」には下記の機能があります。

- ①幼稚園からのお知らせが届きます。
- ②欠席連絡は、夜でも早朝でも連絡ができます。
- ③預かり保育の利用申し込み、キャンセルができます。
- ④通園バスに乗らない時、園でお迎えする時などに連絡ができます。
- ⑤通園バスに10分以上の遅れが発生した場合、自動でメールが送信されます。
- ⑥昼食の画像が見られます。

個人情報の取り扱い

SAFETY MEASURES

来園の際にいただいた情報は施錠管理し、年度末にシュレッダーで処分いたします。また、入園後、ホームページなどに載せる画像はご家庭の意向を確認し、掲載します。武蔵野東学園の個人情報保護方針はホームページで公表しています。

[武蔵野東第一・第二幼稚園ホームページ]

<https://www.musashino-higashi.org>

子どもたちとご家族の安全とプライバシーを守るため、園内ではスマートフォンをしまっただき、画像や動画のSNSへの投稿をなさらないように、ご協力いただいております。

非常時の備え

- 新型コロナウイルス発生に対して、園児用の感染防止用マスクを常備しています。
- 突然の事故や病気によって起こりうる心肺停止状況に対処するためAED(自動体外式除細動器)を設置しています。
- 非常食やミネラルウォーター、自家発電機、毛布、簡易トイレなどを常備しています。

地震の警戒宣言

- 登園前に警戒宣言などで災害発生が考えられる場合には臨時休園となります。
- 保育中に警戒宣言がでた場合は、保護者の方はただちに幼稚園まで迎えにきていただきます。
- 非常時には原則として園児は幼稚園に待機となりますが、大地震の場合など避難が必要となった場合は次のような方法で避難をします。
 - a. 園舎内に園児がいることが危険だとおもわれる時は園庭に避難し、保護者の迎えを待ちます。(順次解散)
 - b. さらに園庭での待機が危険である場合には、関前南小学校を経て、最終的には武蔵野中央公園へ避難します。(この際の避難先は、幼稚園に掲示します)





MUSASHINO HIGASHI

ご家庭との関わり

RELATIONSHIPS

園を通してわが子を再認識する

RELATIONSHIPS

単にお子様を園に預けるのではなく、園でのエピソードに関心を寄せたり、ボランティアをしたりして幼稚園とつながりを持つことで、わが子の新しい一面に触れることができます。また、そのような関わりから、幼児の成長は大きく変化するものです。本園では保護者の皆様にとっても、身近な園をめざしています。

できる範囲で楽しむ「ボランティア」

RELATIONSHIPS

園内外でボランティア活動が行われていますが、できる人が、できる時に、できる範囲で、という考えのもとに実施しています。園まつりのお手伝いや、未就園児のママたちのお喋り会、地域交通安全活動への協力、運動会やお芋ほりなどの補助など。わが子だけでなく幼児たちを身近に感じる機会でもあります。

この指とまれ方式の「サークル活動」

SAFETY MEASURES

趣味や得意なことにつながるサークル活動があります。この活動は、保護者の興味や趣味に合わせて自由に参加できる「このゆびとまれ」方式での会で、保育時間中に楽しんでいただいています。

母親体操

ストレッチやモダンダンスで楽しみながら汗を流し、体力作りに励んでいます。

コーラス

素敵な曲を歌い、子どもたちの前でプチコンサートを行っています。

ガーデニング

幼稚園の花壇に季節の草花の種や苗を植えたり、花から摘みなどをしたりして、自然との触れ合いを楽しんでいます。

ソーイング

手芸の好きな方、苦手だからやってみようという方、どなたでも楽しく活動できます。手作りの良さ、温かさを子どもたちに伝えています。

元気カフェ(手作り広報紙)

各クラブの活動報告を中心とした「元気カフェ」というお便りの発行と、保護者向けの混合教育の勉強会などを企画しています。

交通安全協会部(ヤングミセスの会)

交通安全をテーマに地域の幼稚園ママと一緒に参加しています。月1回の定例会(警視庁の見学や料理教室など)、安全広報車でのアナウンス、園児・保護者対象の交通安全教室などの活動を行っています。

その他にも楽しい活動があります

読み聞かせが大好きな保護者の方々に、定期的に子どもたちに読み聞かせをしていただき、絵本やパネルシアターを通して「おはなし」の楽しさを子どもたちと一緒に楽しんでいます。また、ペンキ塗りや砂場や改修、行事のお店の手伝いなど、お父様を中心とした活動(通称「レッツ」)も行っており、パパ同士の交流の機会となっています。



MUSASHINO HIGASHI

よくあるご質問

QUESTION & ANSWER

Q.01

まだトイレが自立していないのですが、大丈夫でしょうか？

幼稚園では定時にトイレに行くことから始めます。排泄の失敗は決して悪いことではありません。自信を失わないような温かい雰囲気をお願いしています。本人のプレッシャーにならない範囲で、登園が始まる4月までの間に少しずつトレーニングされると良いでしょう。

Q.02

大人数の幼稚園ですが、個々を見てもらえるのでしょうか？

個々の子どもの育ちを理解して、その子にふさわしい関わりをしていくことは保育の基本です。その姿を丁寧に捉え、さまざまな発信物を利用して保護者の皆様と育ちを共有するにもしています。さらに本園では、園児への丁寧な関わりとともに、クラスのみみなでの育ち合いを大切にしています。園児には担任の教員はもちろんのこと、多くの専門分野の教員が、さまざまな視点から園児に関わり、ケアし教育していきます。保護者の皆様からも「うちの子にたくさんの先生が親身に関わってくれている」「きめ細やかな愛情のある先生」「子どもの気持ちを尊重してくれる」などの感想をいただいています。

Q.03

けんかの場面では、先生はどのように対応していますか？

人間関係は、友達にも自分の思いを伝えられること→同様に友達の思いを受けとめること→互いにとって良い方法を見いだすこと、というステップで深まっていきます。このプロセスの中にけんかがあります。この間に互いの思いをつなげていく教員の役割は大切ですが、プロセスを見極めながら、見守る場合もあります。良いこと悪いことの価値基準も持ちながら、なかよしに向けて援助していきます。もちろん暴力は認めていません。状況によっては、速やかに子ども同士の関係に介入することも教員の大事な役割だと考えています。

Q.04

けがや発熱した場合の対応を教えてください。

両園舎には養護教諭が常勤しています。発熱や腹痛などの内科的な疾患の場合には、ご家庭へ連絡して、お迎えがあるまで安静を保ちます。また外科的な対応が必要な場合には、ご家庭への連絡とともに応急手当をして病院へ移送します。保険面では、日本スポーツ振興センター(文部科学省の外郭団体)での災害共済給付制度にも加入しています。

Q.05

食物アレルギーを持っていますが、昼食は配慮されるのでしょうか？

昼食のメニューには、食材をまとめて表記しています。乳製品、卵のアレルギーの方には、除去した昼食を用意しています。アレルギーを完全に除去しなければならない食事治療中の子どもには、みんなと同じお弁当箱をご家庭にお貸しして、保護者の方にお弁当を作っていただいています。

Q.06

小食や偏食のことを心配しています。

ご家庭での食事の様子や導き方を参考にしながら子どもの食の傾向や量を把握します。食事も全部食べなくてはいけないというのではなく、子どもにあった量で、無理のない範囲で少しずつ働きかけていきます。何よりも幼稚園に安心して通えることが初めの目標で、幼稚園で楽しく食事がとれるように配慮しています。





..... MUSASHINO HIGASHI

武蔵野東学園 について

ABOUT US



学園組織

ABOUT US

本園は、私立の総合学園として、武蔵野東小学校をはじめとして武蔵野東中学校も視野に入れた、一貫教育を行っています。

ORGANIZATION

学校法人武蔵野東学園

武蔵野東第一・第二幼稚園

武蔵野東小学校

武蔵野東中学校

武蔵野東高等専修学校



武蔵野東小学校と年長児の交流

ABOUT US

武蔵野東小学校は園児にとって身近な小学校です。小学校との連携という視点から交流や研究保育も行っています。

●武蔵野東小学校5年生のお兄さんお姉さんがクイズやスタンプラリーなどを企画し、一緒に小学校内を見学しています。交流や見学を通して、小学校への憧れの気持ちが育っていきます。

●武蔵野東小学校の理科教員が幼稚園で「理科実験教室」を行っています。実験教室後は、年長児みんなが博士になりきって、試行錯誤しながら「実験」を遊びに取り入れて楽しんでいます。

※幼稚園の保護者の皆様にも、幼稚園を卒園した子どもたちが、武蔵野東小学校で成長していく様子を直接見ていただくために、小学校公開見学日を設けています。

卒園後の進学先

ABOUT US

推薦制度はないものの幼稚園と小学校の教育は一貫性を持っていますので、武蔵野東小学校への進学結果は良好です。また地域に根ざした幼稚園として、公立小学校・私立小学校・国立小学校のいろいろな小学校に進学しています。どの小学校に進学しても実力が発揮できるような子どもに育っていきます。

卒業後の進学内訳 [2023年度]

武蔵野東小学校
[約30%]

地域の公立小学校
[約60%]

その他の私立・国立小学校 [約10%]

- 学芸大学附属小金井小学校
- 成蹊小学校 ●立教女学院小学校 など

沿革

ABOUT US

武蔵野東第一・第二幼稚園のあゆみ

- 1964 (昭和39) 年11月 ●学校法人 武蔵野東幼稚園 認可
- 1965 (昭和40) 年 4月 ●武蔵野東幼稚園 (現：武蔵野東第一幼稚園) 開園
- 1973 (昭和48) 年 5月 ●文部省研究機関の指定
- 1977 (昭和52) 年 4月 ●武蔵野東関前幼稚園 (現：武蔵野東第二幼稚園) 開園
- 武蔵野東小学校 開校
- 1978 (昭和53) 年 6月 ●武蔵野東第三幼稚園 開園 (1986年3月廃園)
- 1983 (昭和58) 年 4月 ●武蔵野東中学校 開校
- 1985 (昭和60) 年 9月 ●武蔵野東幼稚園を武蔵野東第一幼稚園に、武蔵野東関前幼稚園を武蔵野東第二幼稚園に改称
- 9月 ●海外からの自閉症児のために国際学級を新設 (1987年ポストン東スクールへ移設)
- 1986 (昭和61) 年 4月 ●武蔵野東技能高等専修学校 開校
- 1987 (昭和62) 年 7月 ●ポストン東スクール 開校
- 1990 (平成 2) 年 7月 ●武蔵野市私立幼稚園子育て支援地域開放事業開始
- 1998 (平成10) 年 4月 ●預かり保育「ひがしっ子クラブ」開始
- 2001 (平成13) 年 8月 ●夏期預かり保育開始 (冬期預かり保育2008年12月/春期預かり保育2012年3月開始)
- 2004 (平成16) 年 7月 ●武蔵野東第二幼稚園 耐震工事実施
- 2006 (平成18) 年 9月 ●武蔵野東第一幼稚園 リノベーション完成
- 2012 (平成24) 年 3月 ●武蔵野東第一幼稚園 遊具リニューアル完成
- 2014 (平成26) 年 8月 ●武蔵野東第二幼稚園 園庭改修工事完了 (学園創立50周年記念事業)
- 2016 (平成28) 年 8月 ●武蔵野東第一幼稚園、武蔵野東第二幼稚園 防犯カメラ設置完了
- 2017 (平成29) 年 8月 ●武蔵野東第二幼稚園 ひまわり階段トッパトリリニューアル
- 2019 (令和 1) 年 8月 ●武蔵野東第一幼稚園 園庭改修工事完了
- 2021 (令和 3) 年 8月 ●武蔵野東第二幼稚園 職員室改修工事完了
- 2022 (令和 4) 年 1月 ●文部科学大臣 武蔵野東第二幼稚園視察
- 8月 ●武蔵野東第二幼稚園 トイレ改修工事完了
- 2023 (令和 5) 年 8月 ●園バス降園確認安全装置全車設置完了

幼児教育の質の向上のために (研究のあゆみ)

- 1969 (昭和43) 年 2月 ●幼児体育を主とした公開保育実施
- 1971 (昭和46) 年12月 ●第1回自閉症児教育を主とした公開保育実施 翌年同じテーマで第2回公開保育実施
- 1974 (昭和49) 年11月 ●創立10周年記念事業として「造形に関する公開保育」実施
- 1999 (平成11) 年 9月 ●東京都私立幼稚園連合会主催公開保育実施
- 2002 (平成14) 年 9月 ●東京都教育庁主催幼稚園教育研究協議会として公開保育を実施
- 2005 (平成17) 年 9月 ●東京都私立幼稚園連合会主催公開保育実施
- 2008 (平成20) 年 9月 ●東京都私立幼稚園連合会主催公開保育実施
- 2009 (平成21) 年12月 ●ソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」優良プロジェクト園受賞
- 2010 (平成22) 年 7月 ●ソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」をテーマとした公開保育を実施
- 11月 ●東京都私学財団私立学校研究助成事業へ研究申請・論文提出「“すなおなこころ”を育てる～4つの視点からのアプローチ～」
- 2011 (平成23) 年11月 ●東京都私学財団私立学校研究事業・論文提出「伝承する遊びと環境の関係について～砂場を中心として～」
- 12月 ●ソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」奨励園賞受賞
- 2012 (平成24) 年12月 ●ソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」奨励園賞受賞
- 2013 (平成25) 年 6月 ●公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構「公開保育コーディネーター養成講座」の公開保育実施
- 11月 ●東京都私学財団私立学校研究事業へ研究申請・論文提出「保護者へ保育を見える化する工夫について」「子どもの主体的な活動を促す保育環境の構成について」
- 2014 (平成26) 年10月 ●東京都私立幼稚園連合会主催「幼児期の混合教育 (インクルーシブ教育) の実践」をテーマとした公開保育実施
- 2015 (平成27) 年 4月 ●文部科学省 インクルーシブ教育システム構築モデル事業研究受託 (2013年・2014年)
- 10月 ●文部科学省 インクルーシブ教育システム構築モデル事業研究「幼児期のインクルーシブ教育の実践と協議」をテーマとした公開保育実施
- 2016 (平成28) 年10月 ●東京都教育庁主催幼稚園教育研究協議会として公開保育実施
- 2017 (平成29) 年 4月 ●幼児教育質向上のためのECEQ® (イーセック) 公開保育実施 ECEQ® 認定園 第1号 (第一幼) 第2号 (第二幼)
- 2018 (平成30) 年 ●保育情報誌「PuriPuri」発達支援特別編集 (世界文化社保育雑誌) 幼稚園の混合教育の取り組みについて4ページの特集
- 2019 (令和 1) 年 ●保育情報誌「PuriPuri」(月刊) に幼稚園「生活療法」“混合教育”の月1回の特集記事掲載
- 2023 (令和 4) 年 7月 ●朝日新聞 教育面<学びの交差点>に本園の取り組みが掲載
- 2024 (令和 5) 年 3月 ●『みんなを幸せにするインクルーシブ教育』著/園長 加藤篤彦 発刊 (時事通信社)
- 2024 (令和 6) 年10月 ●幼児教育質向上のためのECEQ® (イーセック) 公開保育実施

※2013 (平成25) 年～2024 (令和6) 年
毎年下記大会に於いて園の取り組みについてのポスター発表を実施
7月 全日私幼連東京地区教育研究大会ポスター発表
8月 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構幼児教育実践学会ポスター発表



MUSASHINO HIGASHI
KINDERGARTEN



武蔵野東第一幼稚園

〒180-0014 武蔵野市関前3-29-8

武蔵野東第二幼稚園

〒180-0014 武蔵野市関前3-37-10

学校法人武蔵野東学園 <https://www.musashino-higashi.org/>

■ 武蔵野東学園事務局 (北原記念館内)

〒180-0012 武蔵野市緑町2-1-10

■ 武蔵野東小学校

〒180-0012 武蔵野市緑町2-1-10

■ 武蔵野東中学校

〒184-0003 小金井市緑町2-6-4

■ 武蔵野東高等専修学校

〒180-0013 武蔵野市西久保3-25-3